

歴史や公民・修学旅行など多目的に活用できる地図

歴史的分野で活用できる歴史鳥瞰図 日本の鳥瞰図などを例に

地理的分野のみならず、**歴史的分野**でも活用できます。そのためのさまざまな工夫を凝らしています。

ポイント

歴史的分野での活用(例)

- 遣唐使などの寄港地が確認できます。
- 源平の争乱のおもな合戦地と、源義経の進路がたどれます。長い距離を移動したことを実感できます。
- 江戸時代の「西廻り航路」のルートがわかります。
- 四国八十八ヶ所霊場の位置が確認できます。

A

p.93-94

NEW

93 瀬戸内海周辺の歴史

- 古代～近世
- 奈良時代までに開かれた港
 - 源平の争乱のおもな合戦地(1184～85年)
 - 源義経の進路
 - 村上水軍のおもな拠点(14世紀ごろ)
 - 朝鮮通信使のおもな寄港地(江戸時代)
 - その他のおもな航路(おもに江戸時代)
 - おもな街道(おもに江戸時代)
 - 四国八十八ヶ所霊場
 - おもな堀田
 - 江戸時代のたたら製鉄所
 - 江戸時代の鉱山
 - 江戸時代のおもな特産物
 - 江戸時代の国名
 - 江戸時代の国界
 - ①～⑥は②年表のできごとがあった場所
- 現代
- 都道府県界
 - 都道府庁所在地
 - おもな市
 - おもな町村
 - おもな学



- #### 2 古代～近世の瀬戸内海のおもなできごと
- 12世紀後半 遣唐使の航路などのために港が整備される(大輪田島など)
 - 1184年 平清盛、大輪田島を修築、白米貿易を活性化
 - 1185年 源平の争乱：三ツ谷の戦い、敗れた平氏は隠岐へ遷れる
 - 14世紀ごろ 尾島の戦い、備前川の戦いにより平氏滅びる
 - 1404年 勘合貿易(日明貿易)始まる(～16世紀半ば)
 - 1601年 朱印船貿易開始(～1635)
 - 1607年 朝鮮通信使、江戸を訪れる(1811年までに12回)
 - 江戸時代 北前船、西廻り航路による交易がさかになる(～明治時代初期)

Q 地図で見発見!

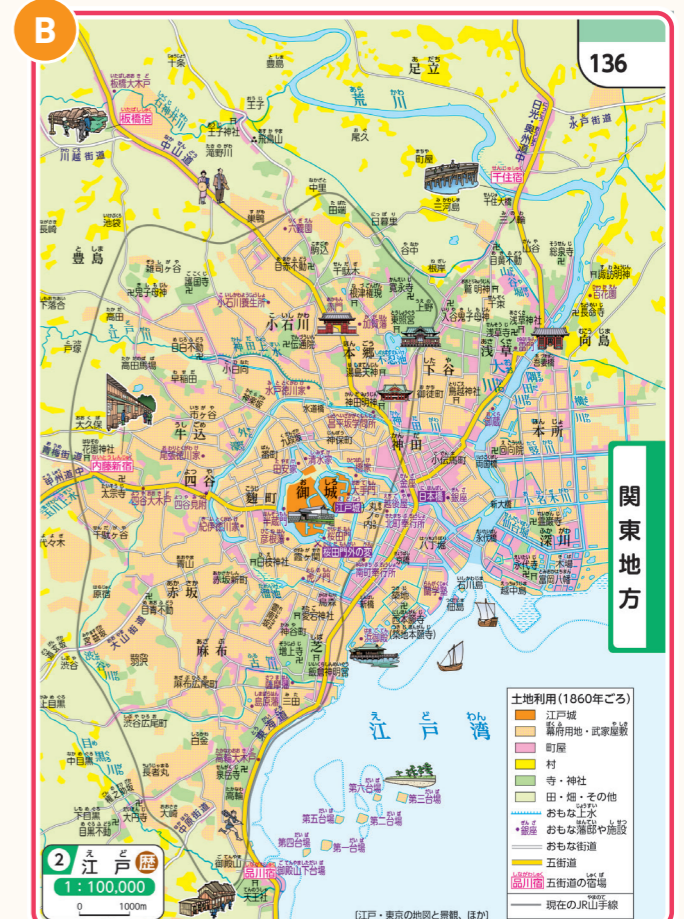
76 ②図に示されたできごとを、貿易・外交関係、争乱関係の二つに分類し、①～⑥のできごとがあった場所を①図で確認しよう。

77 瀬戸内海では、古くからたくさんの人や物が船を使って行き来していた理由を、瀬戸内海周辺の地形に注目して答えよう。

B 歴史で活用できる地図

1860年ごろの江戸の土地利用の様子が確認できます。新宿や品川、千住、板橋などが宿場町として重要であったことや、当時の東京湾はまだ埋立てられていなかったことなどがわかります。

p.136



関東地方

- 土地利用(1860年ごろ)
- 江戸城
 - 幕府用地、武家屋敷
 - 町屋
 - 本陣
 - 村
 - 寺・神社
 - 田・畑・その他
 - おもな上水
 - おもな藩邸や施設
 - おもな街道
 - 五街道の寄港地
 - 現在のJR山手線



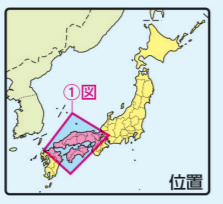
NEW

- 古代～近世**
- 上関 奈良時代までに開かれた港
 - 壇ノ浦 源平の争乱のおもな合戦地(1184～85年)
 - 源義経の進路
 - 因島 村上水軍のおもな拠点(14世紀ごろ)
 - 牛窓 朝鮮通信使のおもな寄港地(江戸時代)
 - その他のおもな航路(おもに江戸時代)
 - おもな街道(おもに江戸時代)
 - 四国八十八ヶ所霊場
 - おもな塩田
 - 江戸時代のたたら製鉄所
 - 江戸時代の鉱山
 - 江戸時代のおもな特産物
 - 山城 江戸時代の国名
 - 江戸時代の国界
 - ①～⑧ は②年表のできごとがあった場所

- 現代**
- 都道府県界
 - 都道府県庁所在地
 - おもな市
 - おもな町村
 - おもな字

ポイント

瀬戸内海を中心とした貿易・外交・争乱のルートが確認できます。



原寸大

中国・四国地方

2 古代～近世の瀬戸内海のおもなできごと

- 奈良時代 遣唐使の航路などのために港が整備される(大輪田泊^①など)
- 12世紀後半 平清盛、大輪田泊^①を修築、日宋貿易を活性化
- 1184年 源平の争乱：一ノ谷の戦い^②、敗れた平氏は屋島へ逃れる
- 1185年 屋島の戦い^③、壇ノ浦の戦い^④により平氏滅びる
- 14世紀ごろ 村上水軍が、因島^⑤、能島^⑥、来島^⑦を拠点に活動
- 1404年 勘合貿易(日明貿易)始まる(～16世紀半ば)
- 1601年 朱印船貿易開始(～1635)
- 1607年 朝鮮通信使、江戸を訪れる(1811年までに12回)
- 江戸時代 北前船、西廻り航路^⑧による交易がさかになる(～明治時代初期)

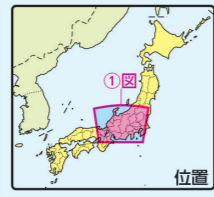
Q 地図で発見!

- 76 ②図に示されたできごとを、貿易・外交関係、争乱関係の二つに分類し、①～⑧のできごとがあった場所を①図で確認しよう。
- 77 瀬戸内海では、古くからたくさんの人や物が船を使って行き来していた理由を、瀬戸内海周辺の地形に注目して答えよう。



- 江戸時代**
- 五街道
 - 五街道の宿場
 - 水戸街道 其他のおもな街道
 - おもな関所
 - 江戸時代の国名
 - 江戸時代の国界
 - 1~12 は2年表のできごとがあった場所

- 現代**
- 都道府県界
 - 都道府県庁所在地
 - おもな市
 - おもな町村
 - おもな字



ポイント

五街道のルートと地形の関係がわかります。

Q 地図で発見!

98 凡例にある五街道を指でたどってみよう。

99 ②図の年表にのっている江戸時代のおもなできごとの場所を地図で確認しよう。



2 江戸時代のおもなできごと ①~⑫は①図での位置を示す

- 1603年 徳川家康が江戸に幕府を開く① *おかげ参りの流行は江戸時代で数回あり、1830年は最大規模。
- 1614年 大阪の陣② (~1615年)
- 1617年 日光東照宮③が完成する
- 1619年 菱垣廻船による江戸~大阪間の運搬開始④
- 1689年 松尾芭蕉が「おくのほそ道」の旅に出る (おもなルート: 江戸①~平塚⑤~山中⑥~大垣⑦)
- 1707年 富士山の噴火(宝永噴火)⑧
- 1783年 浅間山の噴火⑨
- 1802年 東海道⑩での旅のようすを描いた「東海道中膝栗毛」が出版される (~1814年)
- 1830年 伊勢神宮へのおかげ参りが大流行⑩
- 1837年 大阪で大塩平八郎の乱が起こる②
- 1853年 ペリーが浦賀に来航⑪
- 1869年 京都で鳥羽・伏見の戦いが起こる⑫



江戸時代に描かれた1707(宝永4)年の富士山の噴火のようす



現在の由比(静岡県静岡市)

3 東京(江戸)~大阪間の所要時間の変化

江戸時代	徒歩(東海道経由、成人男子の場合)	約14日
	飛脚(備前が運営した飛脚の場合)	2~3日
1889年(明治22)	東京と大阪が東海道本線で結ばれる	19時間
1925年(大正14)	特急(御殿場経由)	11時間27分
1934年(昭和9)	特急(熱海経由)	8時間
1958年(昭和33)	特急こだま	6時間50分
1964年(昭和39)	新幹線ひかり、東海道新幹線開通	4時間
2023年(令和5)	新幹線のぞみ	2時間21分
2045年(令和27)	リニア中央新幹線開通予定	1時間7分 (JTB時刻表2023年1月号、ほか)

4 世界遺産 富士山



5 富士山噴火時の降灰予想



歴史や公民・修学旅行など多目的に活用できる地図

修学旅行や、平和学習に活用できる地図を多数掲載

さまざまなイラストが入った親しみのある地図を多数掲載しています。



A 修学旅行などに活用できる地図

p.109-110「近畿地方の歴史・文化・観光」は修学旅行などで訪れる場所を一望できるように地図の範囲を工夫しているので、**修学旅行の事前・事後学習などに活用できます。**多く訪れる史跡や名勝や寺院、おもな施設、交通機関をイラストで掲載して、地図に親しみながら調べ学習ができます。

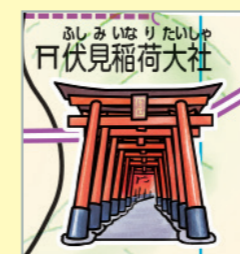
B 平和学習に活用できる地図

p.85「沖縄島南部のようす」は沖縄戦の激戦地に残る戦跡を地図上から読み取れるようにしており、平和学習にも活用できます。p.92⑨「長崎市」や、p.95②「広島市中心部」も掲載しています。



ポイント

「近畿地方の歴史・文化・観光」は、県をまたいで行動する修学旅行で活用できるように、地図の範囲を工夫しています。北は「延暦寺」から南は「関西空港」や「明日香村」まで、西は「神戸市」から東は「東大寺」まで一望できます。距離の感覚もつかみやすく、歴史的なつながりも読み取れます。修学旅行で訪れる史跡や名勝、おもな施設や交通機関をイラストで掲載しています。



歴史や公民・修学旅行など多目的に活用できる地図

修学旅行や、平和学習に活用できる地図を多数掲載

修学旅行や校外学習で多く訪問する都市を中心に、縮尺5万分の1図を14か所設置しています。

ポイント

縮尺を5万分の1に統一した地図

都市中心部の地図は、原則として縮尺を5万分の1に統一しています。

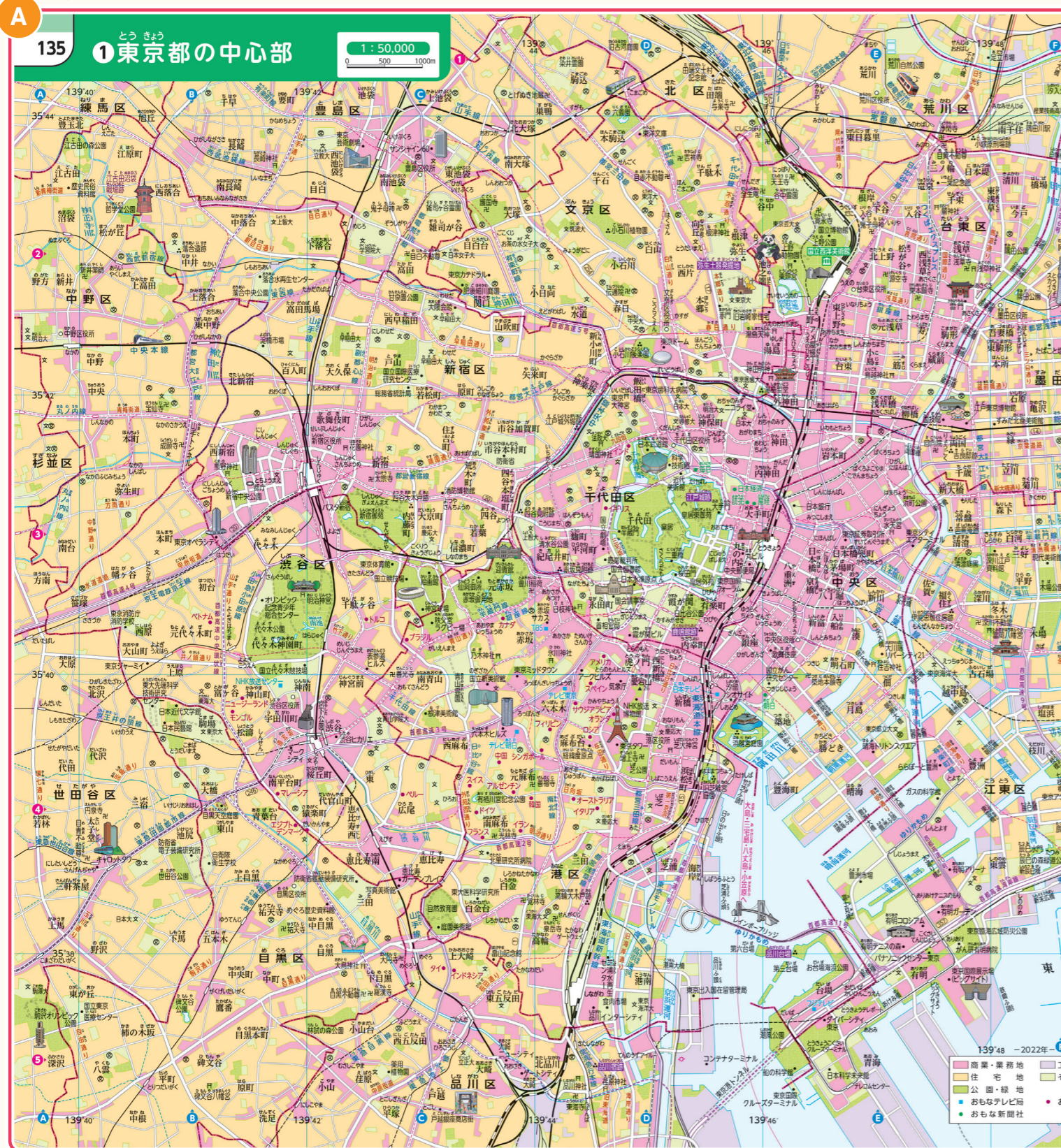
地図の範囲を拡大

京都市・奈良市・大阪市などはその掲載範囲を拡大してリニューアルしています。

A 修学旅行などに活用できる地図

詳細な地図のため、見学先の史跡・名勝や寺社、おもな施設、最寄り駅などがよくわかり、班別活動にも活用できます。訪問の事前学習や事後学習にも活用できます。

↓p.135-136



↓p.109



↓p.86



修学旅行などで活用できる5万分の1図設置箇所一覧

1	p.86⑤	那覇市中心部	NEW
2	p.92⑧	福岡市中心部	
3	p.95②	広島市中心部	
4	p.109②	神戸市中心部	NEW
5	p.111-112①	大阪市中心部	リニューアル
6	p.113①	奈良市中心部	リニューアル
7	p.113②	斑鳩町付近	
8	p.113③	明日香村付近	NEW
9	p.113-114④	京都市中心部	リニューアル
10	p.125④	名古屋市中心部	リニューアル
11	p.135-136①	東京都の中心部	
12	p.138⑨	横浜市中心部	
13	p.142⑨	仙台市中心部	
14	p.150③	札幌市中心部	

歴史や公民・修学旅行など多目的に活用できる地図

歴史的・公民的分野の学習に活用できる工夫

歴史的・公民的分野の学習にも活用できるように「歴史アイコン」(全31か所)と「公民アイコン」(全15か所)を設置しています。

A 歴史的分野での活用を促す「歴史アイコン」

歴史的分野の学習と関係が深いページや、地図・資料図のタイトル横に、「歴史アイコン」を設置しています(全31か所)。



p.117



p.197

ポイント

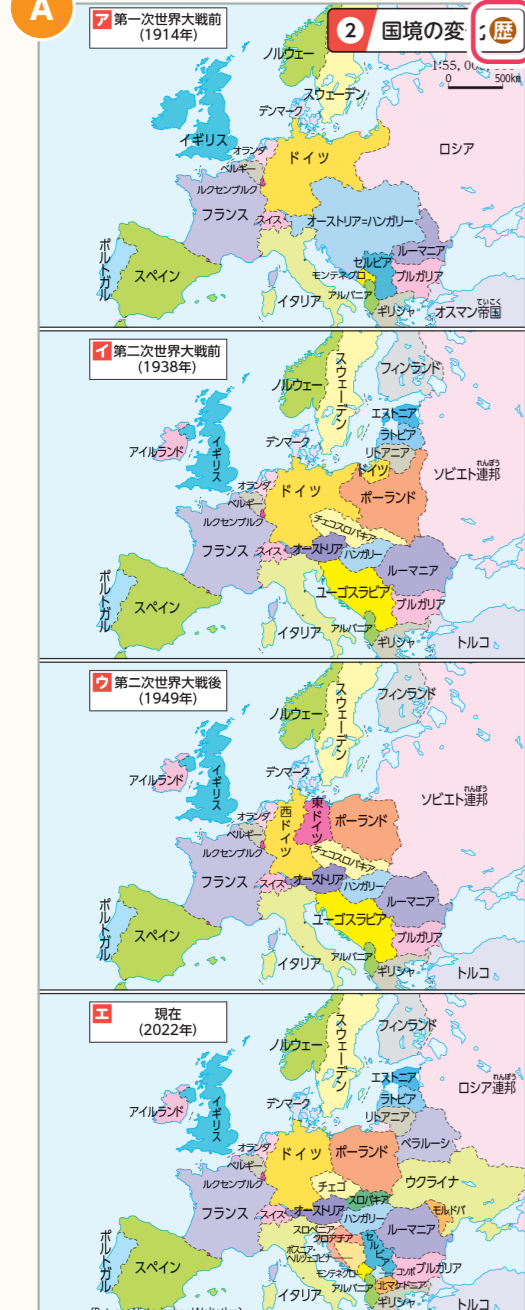
QRコンテンツ「地図帳主題図一覧」には、歴史・公民アイコンの一覧表があるので、歴史や公民的分野の学習で使える地図や資料がどこにあるのかわかります。

B 公民的分野での活用を促す「公民アイコン」

公民的分野の学習と関係が深いページや、地図・資料図のタイトル横に、「公民アイコン」を設置しています(全15か所)。



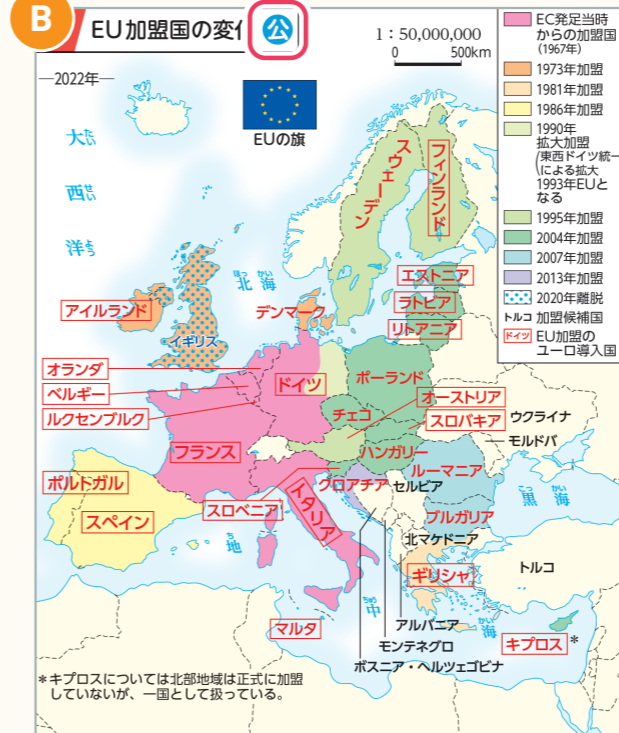
p.49



歴史アイコン設置箇所一覧

1	p.21-22 ②	さまざまな宗教
2	p.23 ②	第二次世界大戦中(1941年)のアジア
3	p.33 ②	朝鮮半島とのつながり
4	p.35-36 ①	東アジアと日本の交流の歴史
5	p.41 ③	エルサレム旧市街
6	p.48 ④	植民地から独立国へ
7	p.49 ②	国境の変化
8	p.57 ②	ローマ中心部
9	p.69 ①	アメリカ合衆国の成立と移民
10	p.85	九州地方の資料(1)沖縄県
11	p.92 ⑨	長崎市
12	p.92 ⑩	北九州工業地帯の変化
13	p.93-94 ①	瀬戸内海周辺の歴史
14	p.95 ②	広島市中心部
15	p.107-108 ②	大阪湾周辺の地形
16	p.109-110 ①	近畿地方の歴史・文化・観光
17	p.111 ②	江戸時代の大阪
18	p.113 ①	奈良市中心部
19	p.114 ④	京都市中心部
20	p.117-118 ①	本州中央部と五街道
21	p.133-134 ①	東京都周辺の地形
22	p.136 ②	江戸
23	p.152 ③	日本とロシア・ソ連の国境の変遷
24	p.154 ⑥	アイヌ語地名と開拓の歴史
25	p.154 ⑧	石狩平野の土地改変
26	p.168 ⑥	日本の公害
27	p.171 ①	日本からの所要時間の変化
28	p.172 ⑧	東京と博多(福岡)間の所要時間の変化
29	p.173-174	日本の歴史・生活・文化
30	p.196 ①	昔の国名と国境
31	p.197-198 ①	日本の領土とそのまわりの国々

p.53



p.136



公民アイコン設置箇所一覧

1	p. 9-10	地図で考える持続可能な社会(2)
2	p.11-12	地図で考える持続可能な社会(3)
3	p.13-14	地図で考える持続可能な社会(4)
4	p.21-22 ②	さまざまな宗教
5	p.48 ⑤	言語分布と紛争
6	p.53 ③	EU加盟国の変化
7	p.80 ⑦	移民の出身地
8	p.85	九州地方の資料(1)沖縄県
9	p.90 ②	環境のまち北九州市
10	p.136 ③	霞が関
11	p.163-164	世界と日本の人口
12	p.165-166	世界と日本の鉱産資源
13	p.168 ⑥	日本の公害
14	p.171 ④	訪日外国人数の推移
15	p.197-198 ①	日本の領土とそのまわりの国々